

やまぐちの学童保育 ニュース

山口県学童保育連絡協議会(山口県連協)

〒742-0424 岩国市周東町差川803

TEL 090-3597-9720 FAX 0832-65-6718

E-mail: yamaguchikennrennkyou@ab.auone-net.jp

2015年もよろしくお願ひしますm(__)m

2015年4月から子ども子育て支援新制度がスタートする予定です。対象児童が高学年を含めた小学生となり、学童保育事業は市町村事業としての位置付けられました。学童保育指導員は放課後児童支援員とその名称を変え、新たに認定資格研修がスタートする予定です。指導員には今までより高い専門性が求められてくると考えられます。

新制度に向けて山口県学童保育連絡協議会は、指導員の専門性を追求するためにも各種研修を充実していきます。山口県内の指導員同士のつながりを深め、意識を高め、学童保育の発展に貢献していきたいと考えています。

第1回講座実行委員会

日程 2015年1月18日(日)
9時30分～11時30分

場所 山口県セミナーパーク
研修室220

内容 第13回講座について
・開催日程、講座内容

山口県学童保育講座のアンケートで、実行委員を希望された方には案内を郵送でお送りしています。講座実行委員として、一緒にがんばりましょう!!

学童保育指導員としての基礎知識

～学童保育士認定講習より～

みなさんは子どもの権利条約を知っているでしょうか？18歳未満のすべての子どもについて

- ①差別の禁止 ②最善の利益
③生命・生存・発達の権利
④意見表明権

という4つの柱からなります。特に④意見表明権はつい忘れがちです。子どもだからという理由で、大人に従っていればよいという考え方は間違いです。学童保育でも指導員だけで活動内容を決めてしまうことのないように、しっかりと子どもたちの意見も取り入れていくことが大切なのです。

【第12回山口県学童保育講座で紹介された手作り品コーナー】

県内の学童保育指導員さんたちが持ち寄った、たくさんの作品の一部を掲載しています。



「あいの～まの～オウツです」



「かわいい手作りレストラン」



「子どもたちに人気の手作りおもちゃ」



「妖怪ウオッチ「ういっす!!」



「小さくてかわいらしいランドセル」



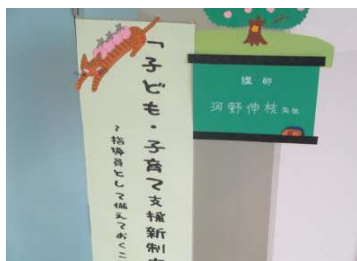
「長期休暇の工作にはぴったり!!」

第12回山口県学童保育講座分科会紹介！！

第1分科会「学童保育の生活づくり～私たちが大切にしたいこと～」

講師は角野いずみ先生(岡山県学童保育連絡協議会事務局長、ひなづる児童クラブ指導員)です。第1分科会では、学童保育の生活づくりをテーマに講義が行われました。先生のお話と、DVDを使ったひなづる児童クラブの実践の紹介、また、子どもの頃の楽しかったことを参加者の皆さんに思い出ししてもらい、その楽しかったことをどうやって現在で実践していくのかを考えたりしました。

父母に寄り添うことや子どもの生活が最善のものとなるような保育の実践が学童保育には必要です。子どもたちの思いを受け止め、ワクワクドキドキする場を作り上げていかなければならないなど、「うちの学童はこうなんだ！」と張り切って語るることができる元気をもらえた講演でした。(世話人 浦中)



第3分科会の案内板



第5分科会の案内板

第3分科会

子ども子育て支援新制度と学童保育～指導員として備えておくこと～

講師は第4回山口県学童保育講座で全体会の講演を行った河野伸枝先生(全国学童保育連絡協議会・副会長)です。山口県で講演するのは実に8年ぶりとなりました。

まず、来年度から始まる新制度について説明がありました。指導員の呼び名が支援員に変わり、新たに県が行う研修制度もはじまることで、今までよりも高い専門性が求められます。また、高学年の受け入れもはじまることから、先生自身の経験を踏まえて、何が必要なのかを話されました。

第3分科会の参加者はとても多く、教室はほぼ満席となり参加された皆さんの意識の高さを感じました。まだ、具体的に決まっていないことも多いですが、指導員は新制度に向けてさらに学び専門性を身につけていくことが重要だと思いました。(世話人 瀧口)

第4分科会

「父母会活動を通して～保護者との関わりを通して～」

講師はやまびこ学級指導員の土井知恵先生です。やまびこ学級が地域社協に委託されるときに、運営に係る必要があるとして父母会を立ち上げた経緯と、父母会と指導員で取り組んでいる3つの行事について講演がありました。

参加者からの質問では、このような父母会活動がどうすれば実現するのかという意見があり、学童保育はもっと指導員と保護者、学校、地域とで関わりを深めていく必要があるのではないかとのことでした。

また、保護者との関わりで悩んでいる若手指導員は、年上の保護者に子育てについてどこまで話せばいいのか、指導員としてどこまで家庭生活に踏み込むのか難しい問題ですと話されていました。保護者との関わりについては、とにかく自分だけで悩まないで同僚指導員と話し合い、一緒に解決策を考えていくことが重要だと確認しました。(世話人 世良)

第5分科会

「遊びながら学びあう子どもたち ～生きる力へ～」

講師は福岡県よりどりちどり館学童クラブ指導員の鍋倉功先生です。遊びを実際に体験してもらった後に、その遊びには子どもの「生きる力」を成長させていく意味がある事を話されました。

紹介された遊びは、今までに体験したことのないものが多く、子どもの頃に戻ったようで楽しく学ぶことができました。そして、子どもたちの成長の段階に合わせて、ルールを適切に設定することでみんなが楽しく活動することができる。学童保育指導員として、大切な事に気付かされました。実際の体験を通してわかりやすく学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。(世話人 郷谷)